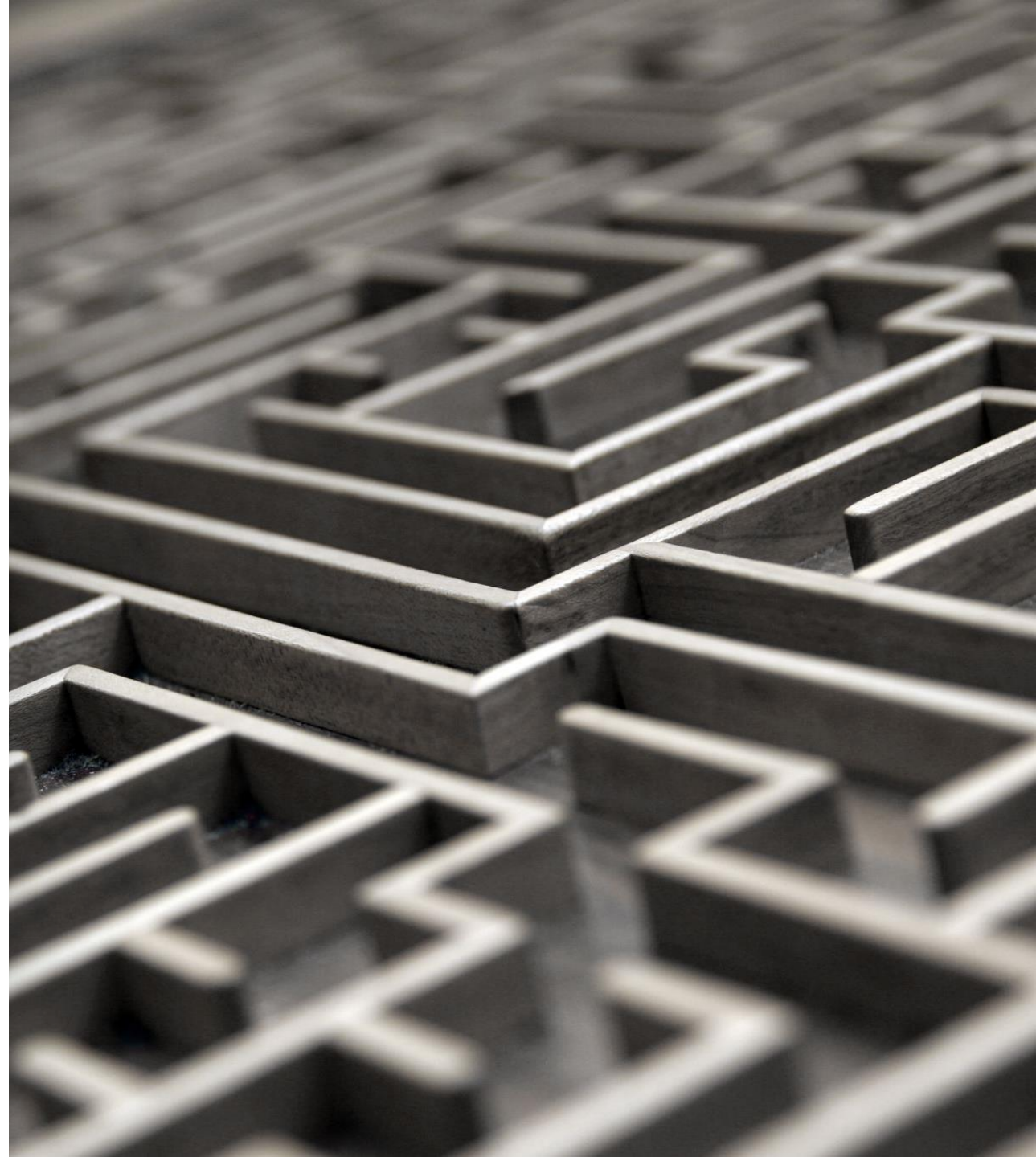


# 個人のニーズへの対応

問題解決の思考法

# 目次

1. 現状
2. 課題
3. コンセプトとプロダクト
4. 期待される効果



# 1. 現状

# 1. 現状

人が多い環境では  
集中できない！

静かすぎる環境も、  
うるさすぎる環境も  
嫌！



## 2. 課題

## 2. 課題

自分が最も集中できる環境で学修するためには？



### 3. コンセプトとプロダクト

### 3. コンセプトとプロダクト

## 図書館のグループ学習室を利用した、新しい学修環境を提案

#### 〈グループ学習室とは？〉

- 図書館の2階と3階にある学習スペース（全4部屋）
- 複数人でも1人でも利用可能
- 図書館窓口で申し込みor事前の予約で利用可能



### 3. コンセプトとプロダクト

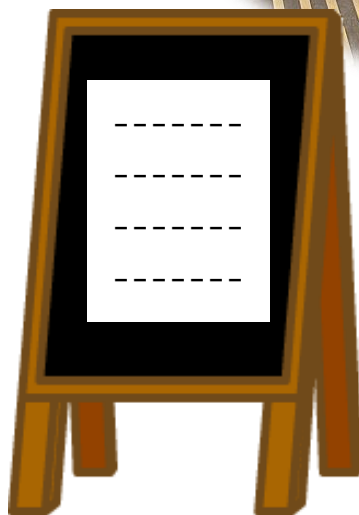
〈具体的には？〉

現在運用されているグループ学習室の利用目的（〇〇という講義のテスト対策、資格取得の為の勉強など）、募集人数などを図書館入口などに掲示する。

### 3. コンセプトとプロダクト

例)

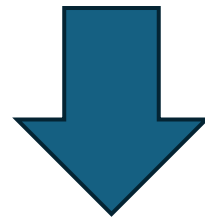
- 利用目的
- 募集人数
- 学習時間  
etc...



## 4. 期待される効果

## 4. 期待される効果

同じ目的を持った仲間を適切な人数で募集でき、自分に合った学修環境に調整する事が出来る。



**学修効率UP!**



ご清聴ありがとうございました。